

☆視 点

世界の繊維需要、4年連続で拡大…2012年

米国のFiber Organon誌が2012年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。同誌によると、繊維需要は前年比3.6%増、化繊生産は同6.1%増とリーマンショックで需要が落ち込んだ2008年以降いずれも4年連続で増加しており、世界的にみると繊維市場の拡大が継続している。

1. 2012年の世界の繊維需要

2012年の世界の繊維需要は前年比3.6%増の8,405万トンと4年連続で増加した。このうち化繊が6.1%増の5,906万トンと増加したのに対し、天然繊維は綿（コットン）と羊毛がいずれも2%前後減少したことから、全体で1.9%減の2,499万トンとなった。

化繊の内訳はセルロース繊維が11.8%増の405万トンと3年連続の2桁増となったほか、合繊（オレフィン繊維除く）も6.0%増の5,014万トン、オレフィン繊維も2.3%増の488万トンといずれも増加した。

一方、天然繊維は綿（コットン）が綿花価格の下落から1.9%減の2,346万トンと減少した他、羊毛も2.0%減の108万トンと減少した。

表1. 世界の繊維需要

品種	2010	2011	2012	前年比
セルロース	3,261	3,619	4,048	11.8
合繊(オレフィン除く)	43,818	47,297	50,136	6.0
オレフィン	4,690	4,770	4,879	2.3
化繊計	51,769	55,686	59,063	6.1
綿	25,002	23,921	23,462	-1.9
羊毛	1,126	1,102	1,080	-2.0
絹	140	132	134	1.5
天然繊維計	26,584	25,470	24,986	-1.9
総計	78,353	81,155	84,049	3.6

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注) 化繊は生産、その他は消費統計に基づく

1. 地域別合繊生産

世界の合繊（オレフィン繊維を除く）生産量について、国・地域別で見ると中国は前年比 9.4%増の 3,362 万トと増加し、世界全体に占めるシェアは前年の 63.6%から 67.0%に拡大した。中国に次ぐ生産国のインドは 3.0%増の 360 万ト。シェアは 7.2%で、両国を併せると世界全体の 3/4 近くを占める。

アジアでは ASEAN が 1.3%増、バングラデシュやパキスタンを含む「その他アジア」が 0.9%増と、いわゆるアジア新興国がいずれも増加したのに対し、日本（5.0%減）、韓国（3.3%減）、台湾（6.0%減）といった国々が減少したのが対照的である。

欧米では、経済不振の西欧とトルコを加えた地域が 3.7%減であったのに対し、米国はポリエステル的好調により 4.7%増の 191 万トと増加した。

表2. 世界の地域別合繊生産

(1000ト、%)

国・地域	2010	2011	2012	前年比	同増減	構成比
日本	639	642	610	-5.0	-32	1.2
中国	27,301	30,729	33,616	9.4	2,887	67.0
韓国	1,562	1,599	1,547	-3.3	-53	3.1
台湾	2,243	2,081	1,956	-6.0	-125	3.9
ASEAN	2,688	2,660	2,694	1.3	34	5.4
インド	3,311	3,494	3,600	3.0	106	7.2
その他アジア	587	659	665	0.9	6	1.3
西欧+トルコ	2,012	1,989	1,916	-3.7	-73	3.8
東欧・CIS	493	495	491	-0.9	-5	1.0
米国	1,848	1,819	1,905	4.7	86	3.8
その他米州	774	744	756	1.5	11	1.5
中東・アフリカ・オセアニア	361	385	382	-0.9	-3	0.8
世界計	43,818	47,297	50,136	6.0	2,840	100.0
中国以外の計	16,517	16,568	16,520	-0.3	-47	33.0

(注)オレフィンを含まない

2. 品種別合繊生産

オレフィンを含む合繊生産は 5.7%増の 5,502 万トとなった。品種別に見ると、アクリル S が 3.1%減の 191 万ト、ナイロン S が 2.5%減の 17 万トと減少した他は、いずれの品種も増加した。特にポリエステル F は 8.9%増の 2,870 万トと大幅に増加した。ナイロン F も 3.7%増の 384 万ト、またオレフィン F も 2.9%増の 384 万トと長繊維の増加が顕著となった。ポ

リエステル S は 2.7%増の 1,461 万ト、オレフィン S は 0.2%増の 104 万トと横ばいであった。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000ト、%)

品種	2010	2011	2012	前年比
アクリル	1,958	1,975	1,914	-3.1
ナイロンF	3,639	3,703	3,841	3.7
ナイロンS	187	171	167	-2.5
ポリエステルF	23,724	26,342	28,694	8.9
ポリエステルS	13,473	14,221	14,607	2.7
オレフィンF	3,680	3,731	3,838	2.9
オレフィンS	1,011	1,039	1,041	0.2
その他	837	884	914	3.3
総計	48,509	52,067	55,015	5.7

3. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比 11.8%増の 404.8 万トと大幅に増加した。国・地域別では、中国が 17.3%増の 246 万トと前年に引き続き 20%近い増加となったほか、インドネシアが 6.1%増、インドが 5.4%増となった。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨン F (キュプラを含む) が 0.6%増の 31.3 万ト。タイヤコードなどで使用される強力レーヨン F は 8.1%減の 5.8 万トに減少した。レーヨン S は 13.6%増の 365 万トとなった。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000ト、%)

国・地域	2011	2012	前年比	品種	2011	2012	前年比
日本	62	61	-1.8	強力レーヨンF	63	58	-8.1
中国	2,093	2,456	17.3	普通レーヨンF	311	313	0.6
インド	370	390	5.4	アセテートF	35	29	-17.1
インドネシア	424	450	6.1	レーヨンS	3,211	3,648	13.6
台湾	82	98	20.6	計	3,620	4,048	11.8
タイ	133	134	0.8	(注)リヨセル繊維を含まない。			
西欧	398	405	1.8	世界のリヨセル繊維の生産能力は年産17.5万ト。			
旧ソ連	3	0	-84.0	(推定、2013年3月時点)			
米国	12	7	-44.6				
ブラジル	18	22	22.7				
その他	25	25	0.8				
世界計	3,619	4,048	11.8				

4. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比 2.3%増の 488 万トン。西欧と米国がいずれも 2.1%減と減少したが、その他の国・地域は増加した。

品種別ではフィラメントが 4.0%増、ステープルが 0.2%増と横ばい、スリット・フィルムファイバーは 2.2%増加した。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2011	2012	前年比	品種	2011	2012	前年比
西欧	1,012	991	-2.1	フィラメント	1,337	1,391	4.0
トルコ	224	241	7.6	ステープル	1,039	1,041	0.2
米国	564	552	-2.1	スリット・フィルム	2,394	2,447	2.2
日本	176	177	0.6	計	4,770	4,879	2.3
中国	788	871	10.5				
その他アジア	862	881	2.2				
中東・アフリカ・オセアニア	520	520	0.0				
その他	624	646	3.5				
世界計	4,770	4,879	2.3				

(担当：業務調査グループ 戸円)

(以上)